

## 一年を振り返って

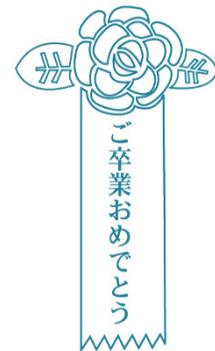
一年間本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。今年度も残り1ヶ月となりました。学習のまとめを行い、卒業・進級に向かって充実した1ヶ月にしたいと考えています。

さて、この一年お子さまの成長ぶりはいかがでしたでしょうか。身長や体重のように目に見える成長だけでなく、一年前の3月を思い起こすことができるようになったことが沢山増えたことに気付くと思います。

新しい学年を迎える前のこの時期は、学校としても一人ひとりの子どもの成長を見つめる大切な時期です。また、学級担任は「指導要録」を作成しながら、学級の一人ひとりの子どもがどれだけ成長したのかを確認します。子どもたちのこの一年の成長を、進学・進級を機に次への更なる成長へと繋げていきたいものです。

子育ては、いろいろと難しいことも多くありますが、親として我が子が将来どのような大人になってほしいかという、ビジョンをきちんと持つことがとても大切だと思います。その上で、いま、子どもに求めることは何なのかを考えていくことがよいのではないのでしょうか。

一年が終了する今月末にお子さまとこの一年を振り返ってみてください。私たち教師集団も一人ひとりの子どもにあった指導を常に模索しています。保護者の皆様や地域の方々と一緒に考え、共に子どもたちの成長に喜びを感じ、一人ひとりにあった教育をより一層進めていきたいと考えています。



## 節目を生かす「竹」



日本を代表する「竹」は、雪の重みにも強い風雨にも耐え、他の木々にはない沢山の「節目」をもって空に向かって真っ直ぐに成長します。

わずかな風を「竹」全体で受け止めるしなやかさと、共に何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもってしています。それにはちゃんと訳があるのです。

まず、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に一年間に7～8メートルもの根を張って地上の「竹」を支える準備をするのです。

やがて芽を出した「竹」は、「節目」ごとに成長点をもつことで一日に80～100センチくらい成長し、2ヶ月で20メートルにもなります。

「節目」を創り、外からの多くの力をしなやかに、力強く受け止め、成長する姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。合わせて、学びの過程で、目に見える行動や成果だけでなく、それらを支える外からは見えない心の葛藤と共に、意欲につながる努力の大切さや自分を支えてくれる周りへの感謝の心を教えてくれます。

真っ直ぐな心をもってたくましく育てて欲しいと願うのは、親や教師だけで無く、一歩先を生きた者、誰もが望む子どもの姿です。

しかし、現実には、人間関係をはじめ様々な困難が次々と降りかかることが多い今日です。だからこそ、それぞれの成長の「節目」において新たなる夢をもって歩みを振り返ることが大切です。その積み重ねが、しなやかさと力強さの基となる「節目」を築き、これから出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源となることと、私は信じています。